



平成 29 年 2 月 2 日

各 位

会 社 名 三菱商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 垣内 威彦
(コード:8058、東証第 1 部)
問合せ先 広報部 報道チームリーダー
吉田 達矢(03-3210-2007)

通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)の通期連結業績予想及び配当予想について、下記の通り修正することと致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 修正の内容

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的 1 株当たり当期利益
前回発表予想(A)	百万円 330,000	円 銭 208.21
今回修正予想(B)	440,000	277.61
増減額(B-A)	110,000	69.40
増減率(%)	33.3%	33.3%
(参考)前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	△149,395	△93.68

(2) 修正の理由

原料炭を中心に資源価格が上昇したことなどを踏まえ、業績予想を修正するものです。
詳細は、本日公表した「2016 年度第 3 四半期 決算公表参考資料」をご参照下さい。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金(円)		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想		30 円	60 円
今回修正予想		40 円	70 円

当期実績	30 円		
前期実績 (平成 28 年 3 月期)	25 円	25 円	50 円

(2) 修正の理由

当社は、「中期経営戦略2018」に基づき、向こう3カ年は、キャッシュ創出額の範囲内で成長投資と株主還元を実行する方針としております。また、株主還元については配当を基本とし、持続的な利益成長に合わせて増配していく累進配当を基本方針としております。

本方針に基づき、昨年5月に平成29年3月期の1株当たり年間配当予想額は、60円とすることを公表致しました。

今回の業績予想の修正は、主に資源価格の上昇によるものである一方、持続可能利益である非資源分野も堅調に推移していることから、1株当たり期末配当予想額を期初見通しから10円増額の40円とし、1株当たり年間配当予想額を70円と致しました。

(注) 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上